

# 令和元年度地震・津波防災訓練 (内閣府・西宮市)

## 実施報告書 (概要版)

### 兵庫県西宮市について

西宮市（にしのみやし）は、兵庫県の南東部に位置する、人口約 48 万人、総面積約 100k m<sup>2</sup>の市である。大阪湾に面した沿岸部は市街地が広がっている。

兵庫県の想定では、南海トラフ地震により、最大震度 6 弱、津波到達は発災 112 分後（水面が 1m 上昇）、最大津波高は 3.7m、市内の浸水面積は 911ha と予測されている。市では、防災体制の強化をはじめ、津波避難ビルの指定、防災マップの作成など様々な防災対策に取り組んでいる。

今回の訓練では、地区内の津波避難ビルへの避難に加え、住民どうしが協力した避難生活の体験企画を盛り込み、発災時の住民個々の一連の行動を実践・検証した。



地図出典：国土地理院

## 訓練概要

- 訓練想定：令和元年11月17日（日）午前9時、南海トラフを震源とするM9.0の地震が発生し、西宮市南部では震度6弱の揺れを観測した。午前9時2分、気象庁は兵庫県瀬戸内海沿岸に大津波警報を発表し、西宮市は鳴尾御影線より南側の地区に対して避難指示（緊急）を発令した。
- 実施日時：令和元年11月17日（日）9時00分～12時00分
- 実施地区：西宮市立南甲子園小学校区及び周辺
- 主催：西宮市、内閣府
- 参加者数：約400名
- 参加機関：西宮市防災危機管理局、西宮市上下水道局、西宮市消防局、西宮市消防団（鳴尾地区）、日本防災士会、神戸女学院大学、コープこうべ、甲子園警察

## 訓練の評価

訓練当日は天候にも恵まれ、地域住民や参加機関等合わせて約400名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、地域住民のアンケート結果等を分析し、今後の防災対策や津波避難訓練の参考となるよう「得られた成果と対策案」を整理した。

### 【得られた成果】

- 実施地区内の津波避難場所の多くは津波避難ビルであり、民間施設も多い。地区住民にとっては、最寄りの津波避難ビルを再確認できたとともに、管理者等にとっては、津波避難の際の経路や誘導方法について検証できる有効な機会となった。
- 避難所開設・運営訓練では、資機材の使用体験を通じて、住民らが協力して相互に助け合う意義を有効に伝達できた。
- 災害食の紹介は、日頃の食材を用いた調理実演も行われ、災害時の食について啓発できた。

### 【今後の対策案】

- 津波避難ビルは、今回の訓練での実態を踏まえて、ビルの管理形態等の特性を考慮しながら、避難者の誘導方法や収容場所等の運用を検討していく必要がある。
- 訓練で津波避難ビルを使用する際、施設管理上、事前調整が必要だが、行政だけでなく自主防災組織等の地域団体とも役割分担するなど、調整過程を通じて地域内の多様な主体どうしの連携強化を進める必要がある。

## 訓練内容

### 事前説明会（令和元年11月2日）

参加予定者に対して、訓練当日の内容の事前学習とともに、地図ワークショップを実施した。

自宅からの避難経路や、小学校区内の状況を話し合い、津波避難の際の経路や助け合いの必要の気づきを得た。

▼事前学習



▼ワークショップ



### 9:00～ シェイクアウト訓練、津波避難訓練

訓練開始とともに、参加者は自宅等でのシェイクアウト訓練を行い、その後、最寄りの津波避難場所（津波避難ビル）への避難訓練を行った。津波避難ビルの様々な管理形態に配慮し、上階への避難のほか、避難階の確認など可能な形で実施した。

消防団は、車両による広報活動により避難を呼びかけた。

▼津波避難訓練



▼消防団の避難広報活動



### 9:50～ 自由参加型訓練（西宮市立南甲子園小学校）

参加者はメイン会場となる西宮市立南甲子園小学校に集合し、災害時の「自助」と「共助」の重要性や、防災の知識、技術を学習する場として、自由参加型訓練を実施した。

避難者の受付や、段ボールベッドの組み立て体験、炊き出しや災害時の調理方法の紹介をはじめ、地元の大学生らによる子ども向けスタンプラリーのほか、技術の紹介として、応急給水技術の紹介、消防団による放水、消防車両・パトカーの展示を実施した。

▼避難所受付



▼段ボールベッドの組み立て体験



▼子ども向けスタンプラリー



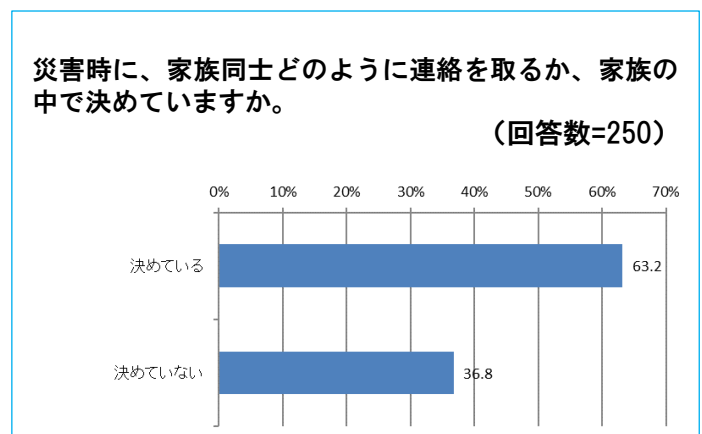
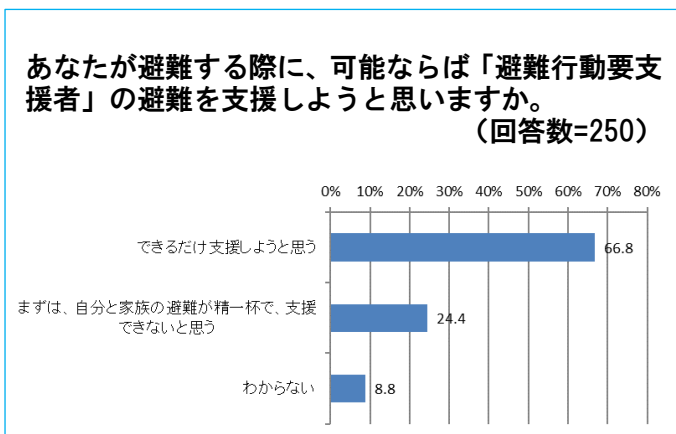
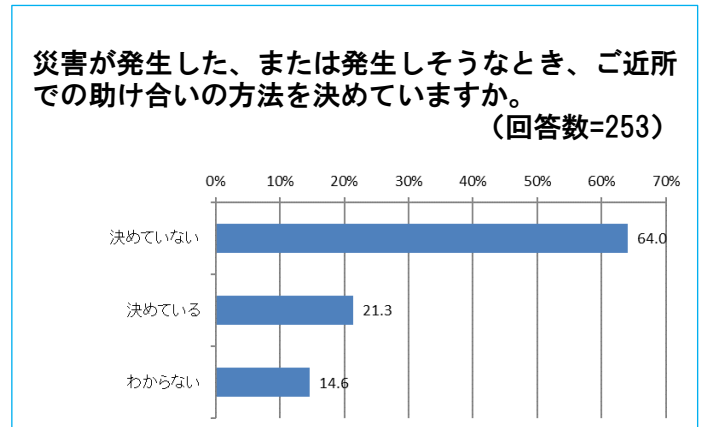
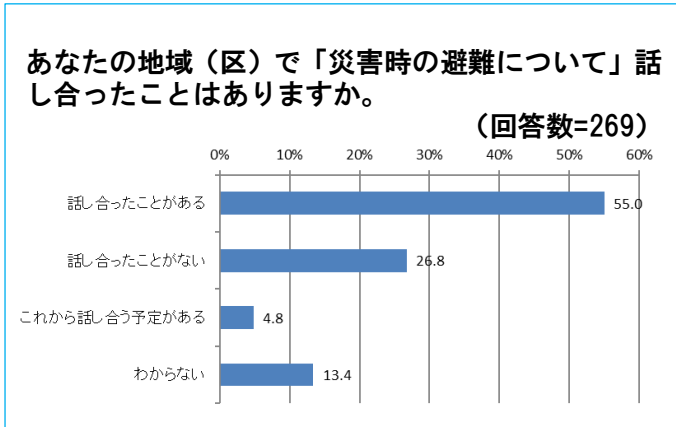
▼応急給水技術の紹介





## アンケート結果

参加した市民に、防災意識や津波避難対策への取組状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（回答数：人）



### 自由回答欄

- （炊き出し訓練を通じて）備蓄がよくわかりました。
- とても役だった。備蓄すべきグッズはすぐに行きます。
- 今回のような訓練は何度も参加することが良い。
- 初めて参加しました。災害が多発している中、日頃の備えの必要性が高いと思いました。
- 色々知らないことを学びました。これから参考にしていきたいです。
- 子どもが参加しても理解できる内容が良かったです。
- 段ボールベッドの組み立ては、簡単にできることがわかり、良かったです。
- （消防による煙体験は）通路の中を通過して、煙の恐ろしさを学びました。
- （自由参加型訓練は）各コーナーをまわることができ、良かったです。

